

第3学年 図画工作科学習指導案

令和元年12月4日(水) 5校時
場 所 図工室

- 1 題材名 みんなでつくろう、キラキラの国
A表現(2) 感じたこと、想像したことを絵に表す活動 B鑑賞(1)

2 題材について

- (1) 児童の実態
(省略)

(2) 本題材を指導するにあたって

本題材は光を反射する材料の美しさから想像を広げ、はり絵にする内容である。あらかじめ児童の身のまわりにあるキラキラ光る材料を集めさせておき、集めた材料の美しさや形からイメージを広げ、物語的、空想的、装飾的に平面的な世界として表現していく活動である。

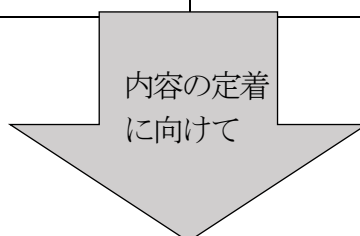
ねらいは、同じキラキラした材料でも、折ったり丸めたりくしゃくしゃにしたりすると感じが変わるおもしろさに気付かせるとともに、切ったり、重ねたり、組み合わせたり、いろいろとできることを試しながら自分で表し方を見つけ、表現させることである。提案する際には、キラキラ王国の王様からのメッセージを使うとともに、表現の場を光が反射する材料で飾ることにより、児童の興味や関心を高め、一人一人の作品に対する発想や構想が膨らむようにしていく。そして、表現の過程ではこれまでの紙工作の技法が生かせるようにしていく。また、光を反射するさまざまな材料を組み合わせるために、加工の仕方や化学接着剤の扱い方を指導し、個別の支援によって一人一人に技能の定着を図っていく。集めてきた材料としっかり出合わせ、材料の美しさを感じることができるようにする。ねらいを明確にすることで、子供たちが表現活動に集中し、実現したい思いを大切にしながら、自分のよさや可能性を見出せるように支援していきたい。

3 研究主題との関わり

研究主題 基礎的・基本的な内容を確実に定着させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業の工夫改善

図画工作科における「基礎的・基本的内容」とは学習指導要領「A表現」(2)においては「表現の活動を通して、次の事項を身に付けるように指導する」とある。

発想や構想	技能
絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや表したいことや用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように生かすかについて考えること。	絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前年度までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。



児童が自分の発想を実現するための色や形を考えられるよう、色や材料の組み合わせを考えながら選べるようにする。表し方や見通し、順序が考えられるように場を工夫する。	児童の経験や実態を考慮し、様々な材料や用具を用意し、工夫をして扱えるように指導する。手や体全体を十分に働かせ発揮している技能を捉え、一層伸ばすような指導と評価をする。
---	---

〈工夫1〉「主体的な学び」の実現にむけて 題材・材料との出会い

主体的な学びとは、授業に取り組む際の児童の態度を指すだけではなく、児童一人一人が自分らしさを大切に、よりよいものへ発展させるように学びに継続的に取り組んでいくことと捉えている。ここでは、子供たちが「こんなものをつくりたい」「こんな感じで、こんな色や形で、こんな材料を使って表現したい」という自分の造形活動への思いをもつことが必要だと考える。題材や材料との出会いを大切に、形や色の世界に浸りながら、存分に学びを継続するために、キラキラの世界へ導かれるような導入を展開したい。

〈工夫2〉「対話的で深い学び」の実現にむけて ともに学び合う場の工夫

学習指導要領解説「先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ」という文言に示唆されているように、考え方なども対話の相手となる。自分自身や友達の作品、身近な材料、表現活動で用いる用具、そして自分自身の表したい思いなども対話の相手であると捉え、場を工夫する。一人一人の製作であっても、少なくとも同じ班の友達の活動を常に見ることができるので、自然に交流が生まれやすい。また、個人の材料だけでなく、共同で使用する材料・用具は中央に用意し、取りに來たり返ったりする中での交流にも期待する。

4 目標及び評価規準

(1) 目標

「光を反射する紙の組み合わせを試したり、見つけたりして、表したいことを思いつく」
ことを通して試したり、見つけたり、考えたりして、それらを生かした表現を楽しむ。

(2) 本題材における〔共通事項〕

ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。

イ キラキラ光る材料の特徴から、形や色の組み合わせをとらえ、自分の表したいもののイメージをもつこと。

(2) 本題材における評価規準

(◆「努力を要する」と判断される児童への支援)

※アンダーラインは〔共通事項〕に関連した内容を示す。

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
光に反射する材料に興味をもち、それらを生かした表現を楽しもうとしている。	材料の形や色からイメージを広げ、自分が表現したいものやことを思いついている。	材料の組み合わせや重なり、形や色、触感を生かした表現を工夫している。	キラキラ光る材料を生かした各自の特徴やよさ、面白さなどに感じている。
◆ 光を反射する材料の特徴を一緒に話し合いながら、関心を高めるようにする。	◆ 発想を広げられるよう、自分の思いを確認できるように問いかける。 ◆ 写真や例を参考に示し、教師と対話する。	◆ パンチなどでくり抜く、切るなどのいろいろな表し方を一緒に行う。	◆ 作品を見ていく視点を明確にし、一緒に鑑賞する。

5 指導と評価の計画（4時間扱い 本時1時間目）

学習活動	関	発	創	鑑	評価の方法 留意点
1 光を反射する材料の美しさを知り、材料への興味をもつ。 (本時1/4時間)	○	○			関 行動観察、表情
2 思いついたことが表せるように、想像を広げながらつくり方を考える。		○			発 行動観察、発言、表情、対話、表現、記述
3 材料の組み合わせや使い方を工夫しながら、自分のイメージを表す。			○		創 行動観察、発言、表情、対話、表現、記述
4 作品を見合い、表し方の工夫やそれぞれのよさを味わう。	○			○	鑑 発言、表情、対話、記述

6 本時の学習指導（1／4）

(1) 目標

光に反射する材料の扱い方や組み合わせ方をいろいろ工夫し、形や色、材料などを生かし想像を広げる。

(2) 準備

【教師】・色画用紙、アルミホイル、カラーホイルテープ、化学接着剤

【児童】・金色や銀色などを使った包装紙や色紙、そのほかキラキラ光る材料、はさみ、接着剤

(3) 展開

過程 ・ 時間	学習活動 「予想される児童の具 体的な姿」(「 」)	指導上の留意点(○) 幸手スタンダード授業5 (◎) (共)：共通事項に関わる内容	評価と手だて 観点：評価規準、【評価方法等】 【◎：十分満足できる状況】 【◆：努力を要する児童への手だて】
導入 5 分	<p>キラキラ王国がピンチなんじゃ。海や川の水はにごり、森の木はかれ、花畑の花もおれてしまった。太陽の光も弱く、月の光もとどかない。生き物もいなくなってしまったのじゃ。</p> <p>そこで、みんなにキラキラをとりもどして、キラキラ王国をまた、キラキラでいっぱいにしてほしいのじゃ。</p> <p>提案1：キラキラ王国に足りないキラキラを考えよう。</p>	<p>◎全員そろった挨拶</p> <p>○児童がキラキラの世界をイメージしやすいように、活動の場に光を反射する材料を飾っておく。</p> <p>◎本時のめあての提示</p>	<p>関 光を反射する材料の美しさを知り、材料への興味をもっている。</p> <p>【行動観察・表情】</p> <p>◎光を反射する材料に積極的に関わり、特徴を見つけようとしている。</p> <p>◆光を反射する材料の特徴を一緒に話し合いながら、関心を高めるようにする。</p>
	<p>提案2：形や色の組み合わせを考え、キラキラ王国をキラキラでいっぱいにしよう。</p>	<p>○キラキラの世界に対する発想が広がるように、さまざまな材料に触れさせながら材料の特徴をつかめるようにする。</p>	
	<p>2 光の反射する材料を手にとり、どんなこ</p>	<p>○<u>形や色の形を基にイメージをもつ</u>ことができるように、</p>	

<p>展開・製作 32分</p>	<p>とができるか考える。 「キラキラしてきれいだね。」 「光り方がちがうよ。」 「アルミホイルって粘土みたいに形が変わるよ。へびみたい。」 「アルミホイルを丸めてのばすときらきら光る池みたい。」 「モールを丸めたら光る渦巻きができたよ。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「つくり、つくりかえ、つくる」の学びの過程</p> </div> <p>3 つくりたいキラキラ国のイメージを実際に表現する。</p>	<p>さまざまな材料に触れさせながら材料の特徴をつかめるようにする。</p> <p>◎深い学び（自力・対話） ○材料からも本人の発想が広がるように、児童の準備する材料などのほかに、「材料銀行」として自由に使えるような場の工夫をしておく。</p> <p>○児童が自信をもって表現に取り組めるように、一人一人の思いや試行錯誤して意欲的に活動している姿のよさを認め、価値付けを行う。</p> <p>○<u>形や色などの造形的な特徴に自分のイメージをもつ。</u> 【共】</p> <p>◎めあての達成度の確認</p>	<p>☞ 材料の形や色からイメージを広げ、自分が表現したいものやことを思いついている。 【行動観察、表情、表現】</p> <p>◎これまでの工作の経験を活かしながら、自分らしい表現をしている。</p> <p>◆イメージが思い浮かばない児童には、実際にあるキラキラした写真を個別に見せ、基本の形を考えさせるようにする。</p>
<p>整理 8分</p>	<p>4 自分や友達の表現を見合って、よさを味わう。 「紙を重ねてキラキラ国に咲く花の花びらになりました。」 「○○さんのは小さなちらばりがあつて星空みたいです。」</p> <p>5 本時の学習を振り返り、自分の学習状況を確認するとともに、次時の活動の見通しをもつ。</p>	<p>○自分や友達の表現のよいところについてお互いに認め合い、今後の表現活動に生かしていくよう伝える。</p> <p>○一人一人の児童が自分の学習状況を確認し、次時の活動への意欲を高めるために、本時のねらいを基に、活動を振り返る視点を示す。</p> <p>◎まとめとふりかえり</p>	<p>◆造形的な特徴をとらえられない児童には、作品を見る視点を個別に助言して気付かせる。</p> <p>◎効果的な表現や材料の特徴、形や色の組み合わせ方、表し方を簡潔に話すことで、自分の思いを確かにできるようにする。</p>